



6月を迎えました。これまでの園生活でそれぞれの学年毎に色々な体験を積んできました。その体験で得た事を土台にして、この6月は異なる体験を重ねて行きます。子どもたちの育ちの大きな力になっております。期待してください。夏服への衣替えも終わり、園庭や園外での活動、そしてスクールバスの中もカラー帽子の10色の躍動が楽しみです。

■親子遠足は6月3日(火)[予備日6月5日(休)]に行います。札幌円山動物園で、現地集合と現地解散で行います。当日朝、10時頃に正面入口右手の広場に集合してください。出席をとった後、保護者は先に入園して頂き、イストハウスとパンジー館との間の芝生・クラス旗を立ておきますので、子どもたちがみんなまで到着する迄茶話会をお待ちください。この後、クラス記念写真を撮って昼食です。つぼみ組はこの日は休園日となります。ご留意ください。

■小学校の運動会の代休の5月29日(月)の日、名ほとの子園児たちがちびっ先生としてお手伝いに来てくれました。1年生が多かったのですが、中学年、高学年も沢山来てくれました。みんな幼稚園だい好きなんですね。スタッフより背が高くなっている六年生の女の子たちに「将来自分の教師になって!」と言ったら「なりた〜!!」との返事。更にうれしくなりました。



■年長組の社会見学は冬のスポーツ大倉山ジャンプ台の見学に行ってます。雄大なジャンプ台を左手に見上げながら、山道もあるいて登り、展望台の屋上から、真下に続くアプロ。その先に広がる円山球場と競技場と札幌市の街並みに目を丸くすることでしょう。

入園の際、パスポートを使 湯庭は一般客ゲートから入ってください。(その旨、担任へ申し出て下さい) 団体割引引き入園料1名分540円を諸七袋に項目を記入して6月7日(水)までお届けください。敷き物をご用意ください。

遠まわりの経験 -なわとび編-

お父さん お母さん! ^{子ども} 幼児の縄跳びについてじっくり考えてみた事ありますか。おとなにとっては、今考えてみると決してむずかしい運動でもないな...と言う思いが先にあるでしょうね。

でも幼児にとっては大変な難関なんです。考えてください、必要なのは ^{からだ} 身体と両手と両足の動きですね。手首を使って縄を大きく回して、タイミング良くつま先で飛ぶだけですが、小さなコンピューターが持たぬ幼児にとっては大変むずかしい運動なんです。スタッフたちやる気を引き出す事と、理論・理屈は通じないので「上手なおどたちの真似をしろさいよ!」とか「大きくまわして!」の言葉かけだけなんです。

縄跳びは「まわり道」そのものです。あちこちと遠まわりして、つまずいたり転んだりしながらやっと1回跳べた! この感激が次のやる気を引き出します。幼児で連続30回跳べたら勲章です。100回は大勲章で、努力を称えたいです。

今年度年長組の縄跳びはこの5月から6月にかけて凄いの表現がピッタリです。昨年の年中組でのさまざまな体験が花を咲かせはじめできました。早くも5月の3週目にとも組がクラス全員100回跳びを達成しました。ゆり組ときく組もがんばってますよ。どうですか!!

決して強制はしておりませんが、どの子も自分から取り組めます。それが2年前だったり1年前の初挑戦でした。縄を回せず、回しても飛ばず、毎日がこんな状態。失敗しても失敗してもあきらめずやり続けることとたちです。1回でも飛べた時の喜びは計り知れぬほど。この喜びが次のやる気を引き出してくれるんです。

1回が3回になり、5回が10回に、やがて30回をクリアすると「頑張れは出来るんだ!」を実感するようになります。その事への意欲を更に強くしました。出来る出来ないの早さには個人差はありますが、どの子も出来るようになります。遠まわりの経験は心を育ててくれます。